

# 第62回「感性研究フォーラム」講演会

## 年間テーマ『感性とデジタル』

主催：繊維学会研究委員会「感性研究フォーラム」

日時：2026年3月18日(水) 13:30~16:15

開催方法：ZOOM を利用してのリモート講演

プログラム：

13:30 開会

13:35 開会挨拶 神戸松蔭大学 徳山孝子 (研究委員会「感性研究フォーラム」委員長)

13:40~14:40 コミュニケーションⅠ (講演)

『感性工学と価値創造』

関西学院大学 工学部 情報工学課程 教授 長田典子

豊か (well-being) で持続可能 (sustainable) な社会の実現には、質的な発展が不可欠であり、人間性を中心とした新しい科学技術が求められています。そこで感動、満足、快適感、高級感といった人の主観的感覚を感性情報として扱い、製品の付加価値を高める感性価値創造研究に取り組んでいます。心理統計学・五感センシング・AI等を活用して、一人ひとりの感性・個性を科学的、定量的に分析することで、モノやサービスの個人最適化を実現します。多種多様な企業とともに推進してきた事例を交えて紹介します。

14:40~14:55 質疑応答 (フリーディスカッション)

14:55~15:00 休憩

15:00~16:00 コミュニケーションⅡ (講演)

『感性×AIによる「感性価値」の可視化とビジネス実装の最前線

— 触感の定量化・物性逆推計から、デザイン・マーケティング活用まで—』

感性AI株式会社 事業部 チーフ 宮崎 諒

感性AI株式会社は、電気通信大学坂本研究室が長年培ってきた「五感の定量化」技術を社会実装するため、同大学および京王電鉄株式会社の共同出資により設立されました。アカデミアの知見を基盤とした独自モデルにより、感性価値の客観評価と「ものづくりDX」を推進しています。

本講演では、多様な業種で進む感性実装の全体像に加え、特に繊維・素材分野における「触感」の定量化技術を重点的に解説します。自動車内装材開発の事例を基に、オノマトペと物理特性の関係性をAIが学習し、理想の触り心地を実現する設計パラメータを逆推計・提案するプロセスを紹介します。

さらに、パッケージデザインの印象評価や商品ネーミング分析など、視覚・言語領域における活用事例も併せて紹介します。企画から設計、マーケティングに至る工程で、「なぜ良いか」の客観的根拠がいかに価値創造に寄与するか、トータルでの支援実績を共有します。

16:00~16:15 質疑応答 (フリーディスカッション)

16:15 閉会：次回の予告：2026年8月上旬の講演を予定しています。

参加費：2,000円 (参加者一律)、

但し感性研究フォーラムの会員様、学生は無料です。会員の年会費は2,000円です。会員登録は、次のHPをご覧ください。

<https://www.fiber.or.jp/jpn/organization/committee/sensibility.html>

申込方法：2026年3月16日(月)までにE-mailで参加申込するとともに次のゆうちょ銀行に振込をしてください。

(ゆうちょ銀行の振込手数料は個人負担となります。)

入金確認後3月上旬頃から順次zoomのIDとパスワードをお知らせします。

(注1) IDとパスワードが届かない場合は、ご連絡ください。

(注2) 録音、録画、スクリーンショットは禁止します。

(注3) 講師の会社関係者は申し込みをさせていただきますが、参加費は無料です。

お支払先：ゆうちょ銀行 記号番号 14360-88230261 感性研究フォーラム (カンセイケンキュウフォーラム)

E-mail：[KANSEIFORUM@gmail.com](mailto:KANSEIFORUM@gmail.com) 件名に「第62回 感性研究フォーラム参加申込」、

本文に「氏名、所属」をご記入の上、送信して下さい。

問合せ先：〒141-0021 東京都品川区上大崎3-3-9-208 一般社団法人繊維学会(内) 感性研究フォーラム事務局

TEL:03-3441-5627 FAX:03-3441-3260 E-mail: [KANSEIFORUM@gmail.com](mailto:KANSEIFORUM@gmail.com)